

平成28年度「景気動向調査」集計結果

【調査目的】

留萌地域において、あらゆる業種にわたる中小企業の業況悪化が地域経済に深刻な影響を及ぼしており、人口減少による消費の低迷や消費税増税等の影響が見られます。

この状況が長期化、深刻化することが懸念されており、このような状況を鑑み、市内中小企業の実態を把握し、今後の地域活性化事業に関する検討材料とすることを目的に調査しました。

【調査概要】

調査対象：留萌商工会議所 会員事業所

調査期間：平成28年8月1日～31日

調査方法：当所会員事業所に調査票を送付し、回答は返信用封筒・FAXにて返信していただきました。

配布件数：617事業所

回答数：155事業所（回答率 25.12 %）

【調査項目】

I 貴社の業種等について

1. 業種
2. 従業員規模

II 貴社の業績動向について

1. 売上高
2. 今後の利益見通し
3. 留萌管内の景気回復時期
4. 消費増税延期の影響

III 貴社の経営実態について

1. 資金繰りの状況
2. 現時点での従業員数・生産販売設備
3. 先行き（2～3ヶ月先）の懸念材料
4. 今後の事業展開でのプラス要因・マイナス要因
5. 現在最も苦慮している経営上の問題点

IV その他

1. 商工会議所に対する要望・意見

I 貴社の業種等について

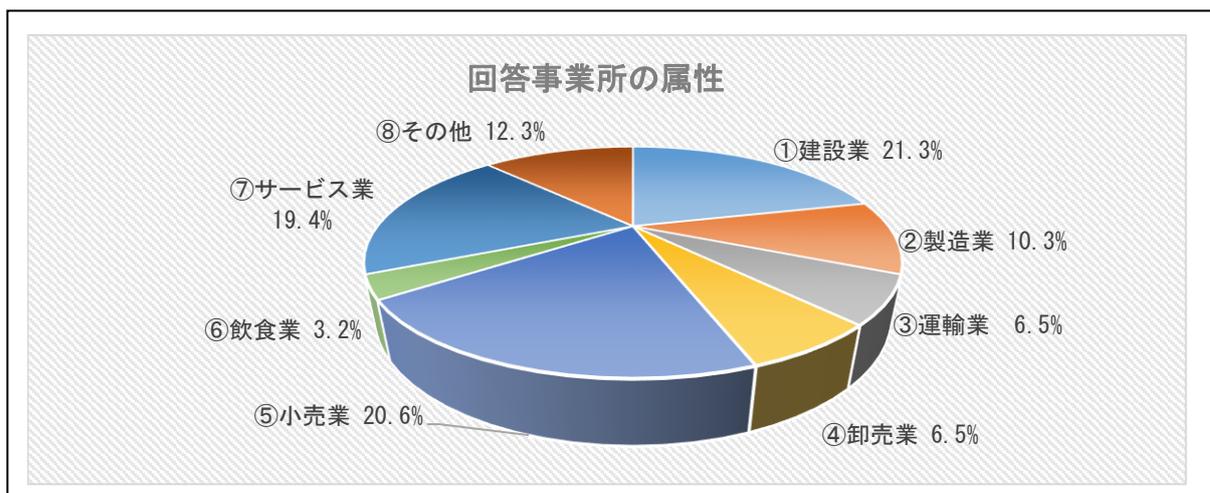
【回答事業所の属性】

・業種

- ①建設業 33件 (21.3%) ②製造業 16件 (10.3%) ③運輸業 10件 (6.5%)
- ④卸売業 10件 (6.5%) ⑤小売業 32件 (20.6%) ⑥飲食業 5件 (3.2%)
- ⑦サービス業 30件 (19.4%) ※ ⑧その他 19件 (12.3%)

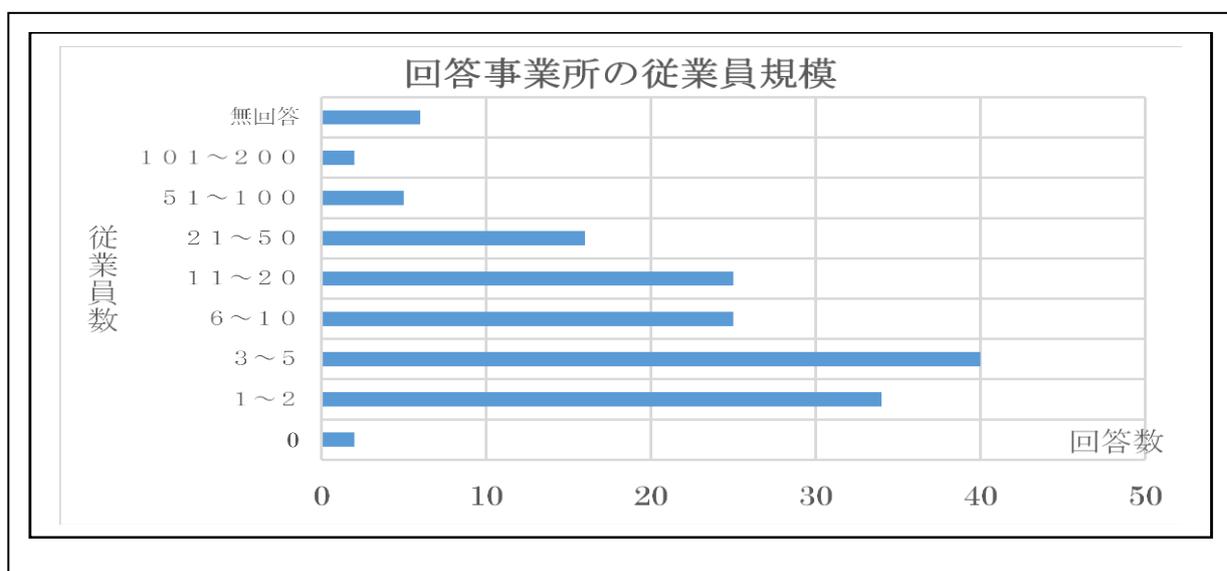
※⑧その他

- 金融業 5件・保険業 3件・美容業 1件・不動産業 1件・清掃業 1件
- 漁業水産業 1件・農林水産業 1件・通信業 1件・旅館業 1件
- 事業協同組合 1件・新聞業 1件・医療業 1件・その他 1件



・従業員規模

- 0人 2件 (1.3%) 1人~2人 34件 (21.9%) 3人~5人 40件 (25.8%)
- 6~10人 25件 (16.1%) 11人~20人 25件 (16.1%) 21人~50人 16件 (10.3%)
- 51人~100人 5件 (3.2%) 101人~200人 2件 (1.3%) 無回答 6件 (3.9%)



II 貴社の業績動向について

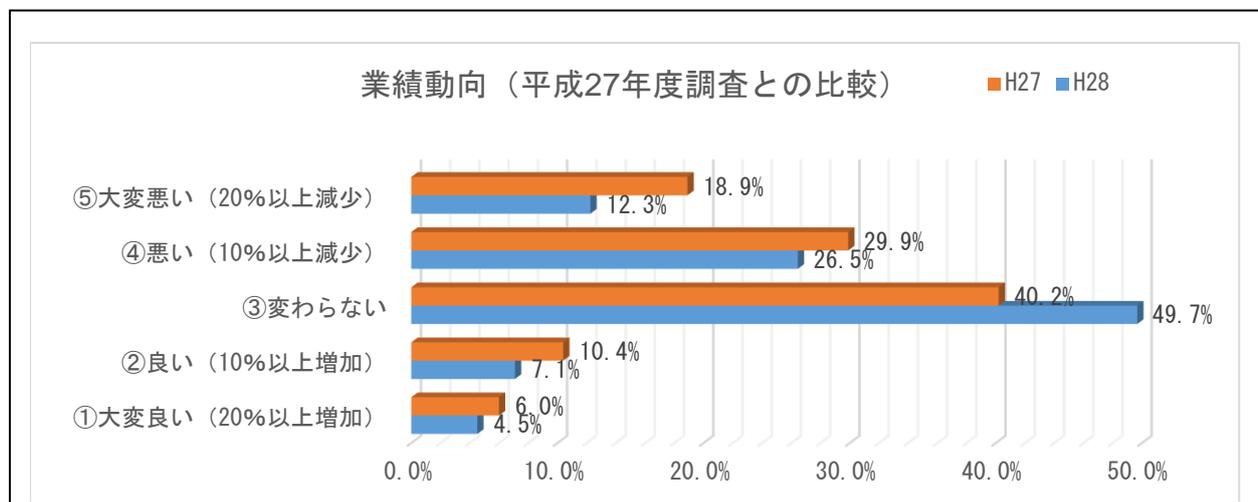
1) 前年と比較した売上高（又は販売数量）について伺います。該当するものに○を付けてください。

【 回答 】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービ	⑧その他	割合
①大変良い（20%以上増加）	1	1	1	0	2	0	1	1	4.5%
②良い（10%以上増加）	4	0	0	1	1	0	3	2	7.1%
③変わらない	14	9	4	4	13	4	17	12	49.7%
④悪い（10%以上減少）	8	4	2	2	12	1	8	4	26.5%
⑤大変悪い（20%以上減少）	6	2	3	3	4	0	1	0	12.3%

前年と比較した売上高（又は販売数量）について、「変わらない」と答えたのが最も多く49.7%、次いで「悪い」が26.5%、「大変悪い」が12.3%、「良い」7.1%、「大変良い」4.5%となりました。

また、前回調査と比較すると「良い・大変悪い」は4.8%減少しましたが、「悪い・大変悪い」についても10%減少となっています。なお「変わらない」は9.5%増加となりました。



2) 1) で売上高（又は販売数量）が良いとしている要因はどのようなことですか。該当するものに○を付けてください。（複数回答可）

【 回答 】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①個人消費の増加	1	1	0	0	0	1	0	0	17.6%
②特殊事情による一時的な売上増	1	1	1	0	3	0	0	0	35.3%
③原材料価格上昇に伴う売上増	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
④輸出の増大	0	0	0	0	0	0	1	0	5.9%
⑤新商品、新サービスなどの売上増	0	0	0	1	0	1	1	0	17.6%
⑥官公庁の発注増	3	0	0	1	0	0	0	0	23.5%
⑦その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

売上高（又は販売数量）が「良い・大変良い」とした要因について、最も多かったのは「特殊事情による一時的な売上増」の35%、次いで「官公庁の発注増」が23%、「個人消費の増加」「新商品・新サービスの売上増」が18%となりました。

また、前回調査と比較すると「個人消費の増加」の9.3%の増加、次いで「官公庁の発注増」が6.6%の増加となっています。



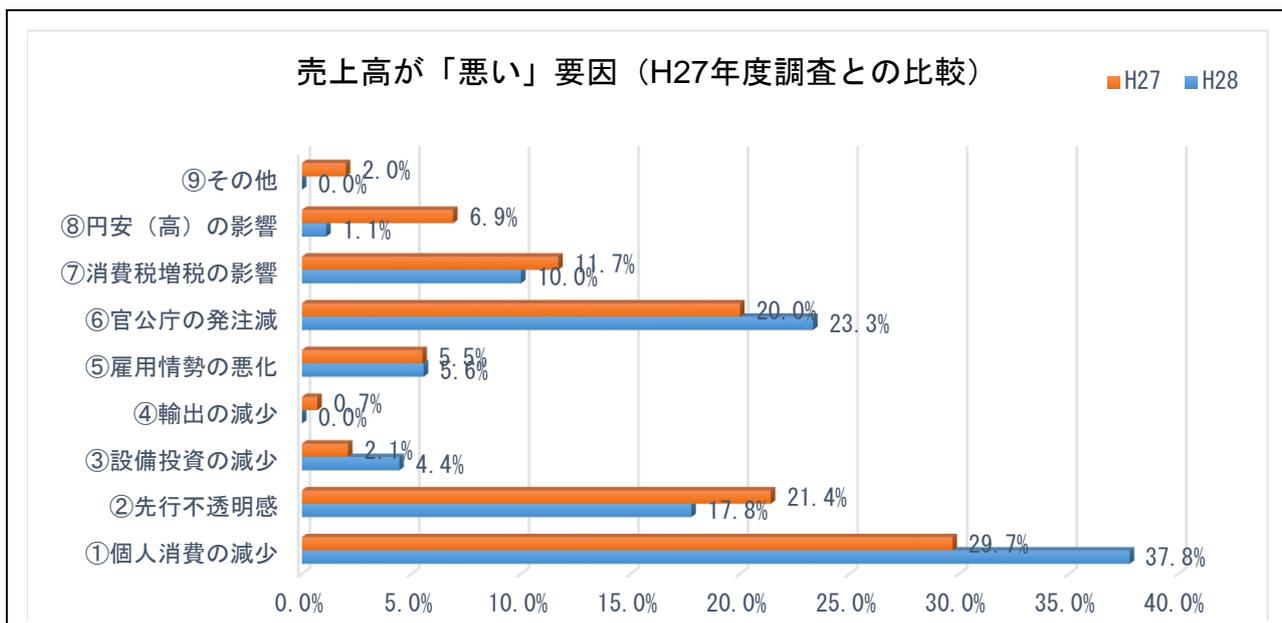
3) 1) で売上高（又は販売数量）が悪いとしている要因はどのようなことですか。（複数回答可）

【回答】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①個人消費の減少	3	3	2	3	16	2	3	2	37.8%
②先行不透明感	3	2	1	1	4	0	4	1	17.8%
③設備投資の減少	2	0	0	0	1	0	1	0	4.4%
④輸出の減少	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
⑤雇用情勢の悪化	1	1	1	0	1	1	0	0	5.6%
⑥官公庁の発注減	8	3	3	1	3	0	2	1	23.3%
⑦消費税増税の影響	1	0	0	2	4	2	0	0	10.0%
⑧円安（高）の影響	0	0	0	1	0	0	0	0	1.1%
⑨その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

前年と比較した売上高（又は販売数量）について「悪い・大変悪い」とした要因について最も多かったのは「個人消費の減少」の38%、次いで「官公庁の発注減」23%「先行不透明感」18%となりました。

また、前回調査と比較すると「個人消費の減少」が8.1%の増加、次いで「官公庁の発注減」が3.3%の増加となっています。



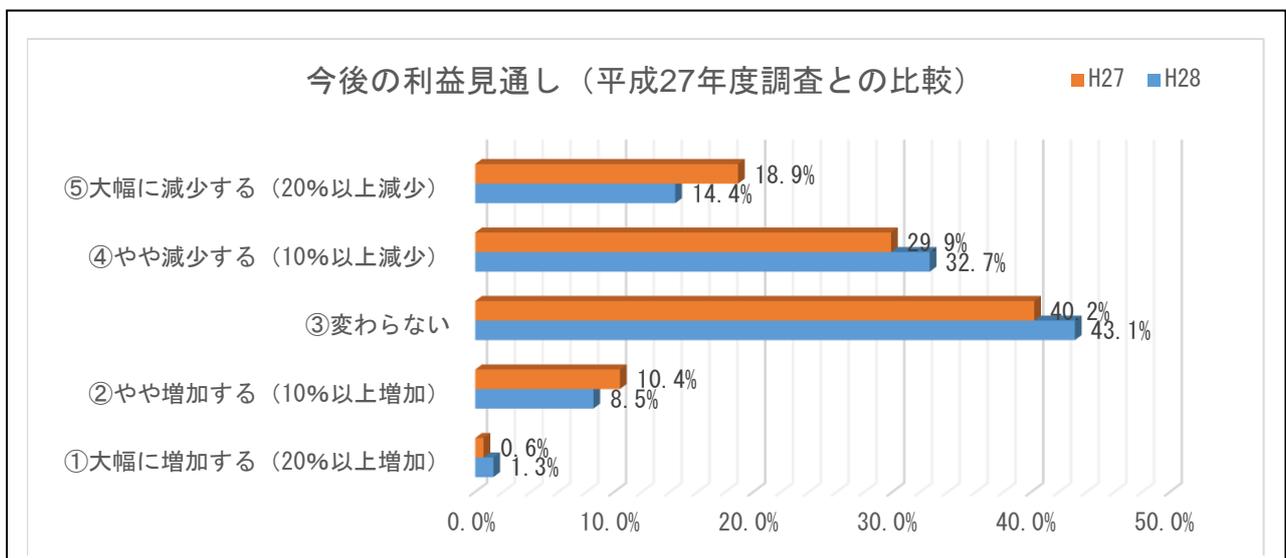
4) 今後の利益見通しについて伺います。該当するものに○を付けてください。

【 回 答 】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①大幅に増加する（20%以上増加）	0	0	0	0	1	0	0	1	1.3%
②やや増加する（10%以上増加）	3	3	0	1	1	0	4	1	8.5%
③変わらない	19	6	5	2	10	3	10	11	43.1%
④やや減少する（10%以上減少）	8	3	2	4	14	2	13	4	32.7%
⑤大幅に減少する（20%以上減少）	5	4	3	3	6	0	1	0	14.4%

今後の利益見通しについては、「変わらない」と答えたのが最も多く43.1%、次いで「やや減少」が32.7%、「大幅に減少」が14.4%、「やや増加」が8.5%、「大幅に増加」が1.3%となりました。

また、前回調査と比較すると「変わらない」が2.9%の増加、「やや減少する」が2.8%の増加したのに対し、「大幅に減少する」が4.5%減少しています。



5) 留萌管内の景気回復の時期はいつ頃だとお考えですか。該当するものに○を付けてください。

【 回 答 】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①平成28年下期	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
②平成29年上期	0	0	0	0	1	0	0	0	0.7%
③平成29年下期	0	0	0	0	0	0	1	0	0.7%
④平成30年上期以降	0	0	0	0	0	0	1	1	1.3%
⑤不明	32	16	10	10	31	5	27	16	97.4%

留萌管内の景気回復時期については、全体の97.3%が「不明」と回答しています。

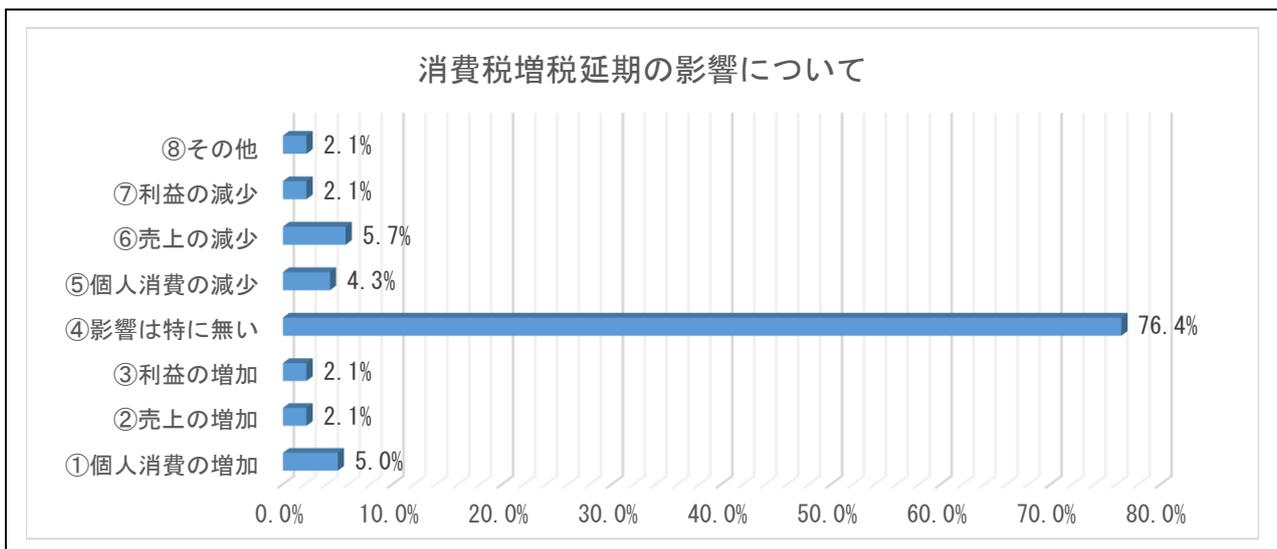
長引く厳しい経営環境がいつまで続くのか、景気回復時期の見通しは不透明な状況となっています。

6) 消費税増税が延期されましたが、具体的にどのような影響がありましたか。又あると思われますか。該当するものに○を付けてください。

【回答】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①個人消費の増加	2	0	1	1	0	0	3	0	5.0%
②売上の増加	0	0	0	0	0	1	2	0	2.1%
③利益の増加	1	0	0	0	0	0	2	0	2.1%
④影響は特に無い	25	12	2	7	27	3	20	11	76.4%
⑤個人消費の減少	1	0	1	1	0	1	1	1	4.3%
⑥売上の減少	1	0	0	0	1	1	1	4	5.7%
⑦利益の減少	0	2	0	0	1	0	0	0	2.1%
⑧その他	0	0	0	0	1	0	1	1	2.1%

消費税増税延期の影響については「影響は特に無い」と答えたのは全体の76.4%と最も多く、次いで「売上減少」が5.7%、個人消費の増加が5%となりました。



Ⅲ 貴社の経営実態について

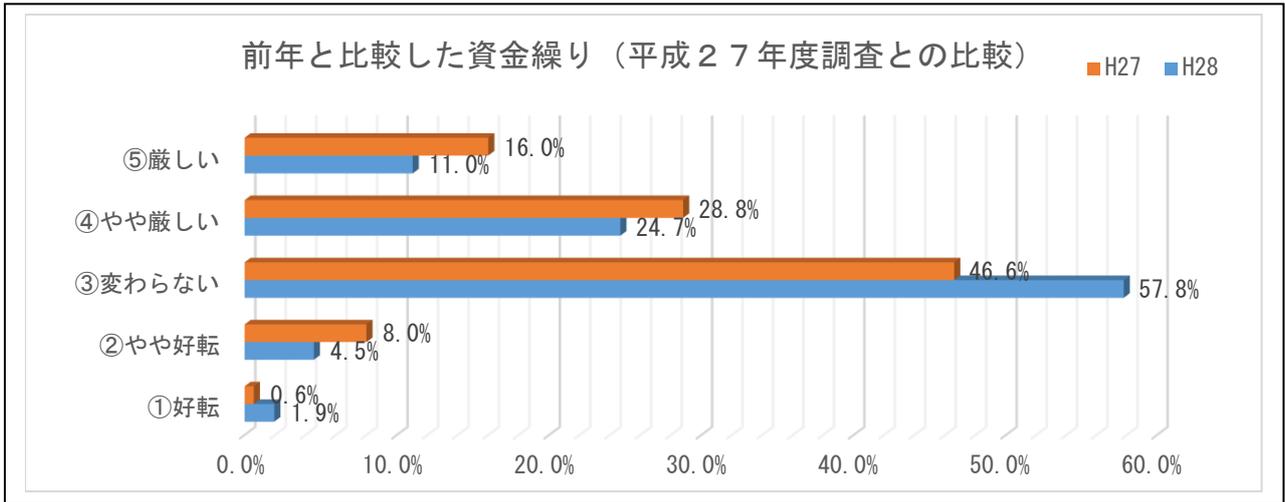
1) 前年と比較した資金繰りの状況について伺います。該当するものに○を付けてください。

【回答】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①好転	0	0	0	0	0	0	2	1	1.9%
②やや好転	1	2	0	0	1	0	2	1	4.5%
③変わらない	18	9	4	7	16	5	17	13	57.8%
④やや厳しい	10	3	3	0	12	2	6	2	24.7%
⑤厳しい	4	1	3	3	3	0	2	1	11.0%

前年と比較した資金繰りの状況については、「変わらない」が57.8%で最も多く、次いで「やや厳しい」が24.7%、「厳しい」が11%、「やや好転」は4.5%、「好転」は1.9%となり依然として厳しい資金繰りが続いています。

また、前回の調査と比較すると「やや厳しい」は4.1%減少、「厳しい」についても5%減少し、若干の資金繰りの改善傾向がみられます。



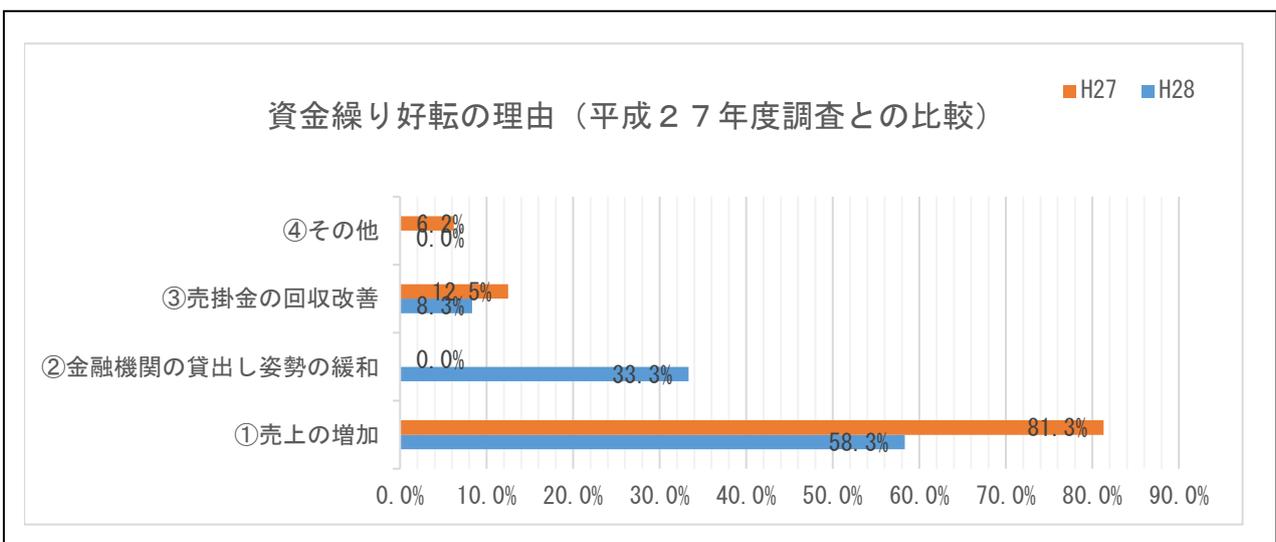
2) 1) で①か②を選択した方に伺います。資金繰りが好転した理由はどのようなことですか。該当するものに○を付けてください。（複数回答可）

【 回 答 】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①売上の増加	2	1	0	0	0	0	2	2	58.3%
②金融機関の貸出し姿勢の緩和	1	1	0	0	0	0	1	1	33.3%
③売掛金の回収改善	0	0	0	0	0	0	1	0	8.3%
④その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

資金繰りが好転した要因については、「売上の増加」が58.3%と最も多く、次いで「金融機関の貸出姿勢の緩和」が33.3%、「売掛金の回収改善」が8.3%となりました。

また、前回の調査と比較すると、「売上の増加」が23%減少したのに対し、「金融機関による貸出姿勢の緩和」が、0%から33.3%の増加に転じている。



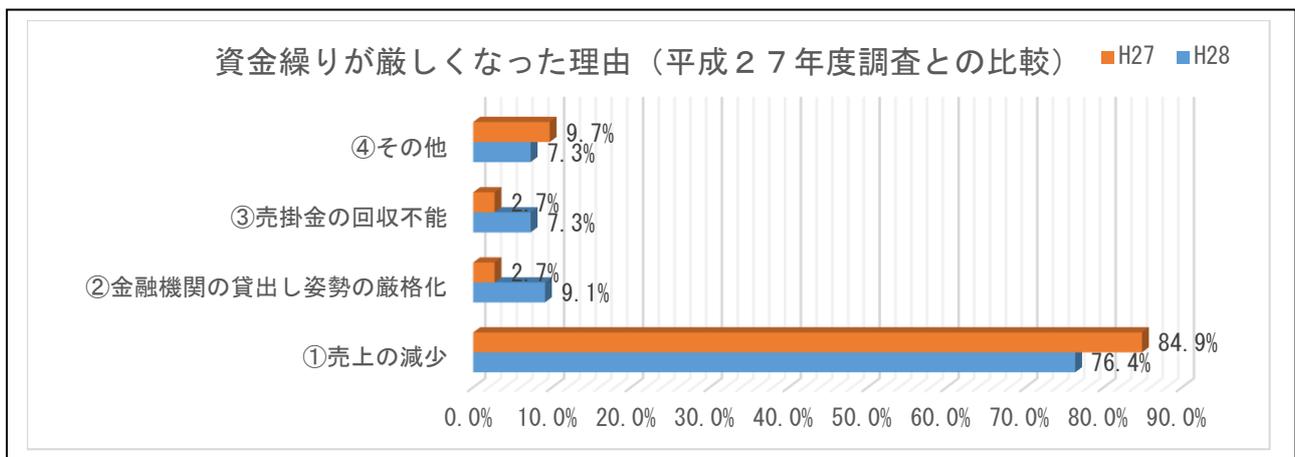
3) 1) で④⑤を選択した方に伺います。資金繰りが厳しくなった理由はどのようなことですか。該当するものに○を付けてください。(複数回答可)

【回答】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①売上の減少	9	3	4	3	15	1	7	0	76.4%
②金融機関の貸出し姿勢の厳格化	0	1	1	0	3	0	0	0	9.1%
③売掛金の回収不能	1	1	0	0	1	0	1	0	7.3%
④その他	1	0	2	0	0	0	0	1	7.3%

逆に資金繰りが厳しくなった要因については、「売上の減少」が76.4%と最も多く、次いで「金融機関の貸出し姿勢の厳格化」が9.1%、「売掛金の回収不能」が7.3%となりました。

また、前回の調査と比較すると、「売上の減少」は8.5%減少したのに対し、「金融機関の貸出し姿勢の厳格化」が6.4%増加しています。



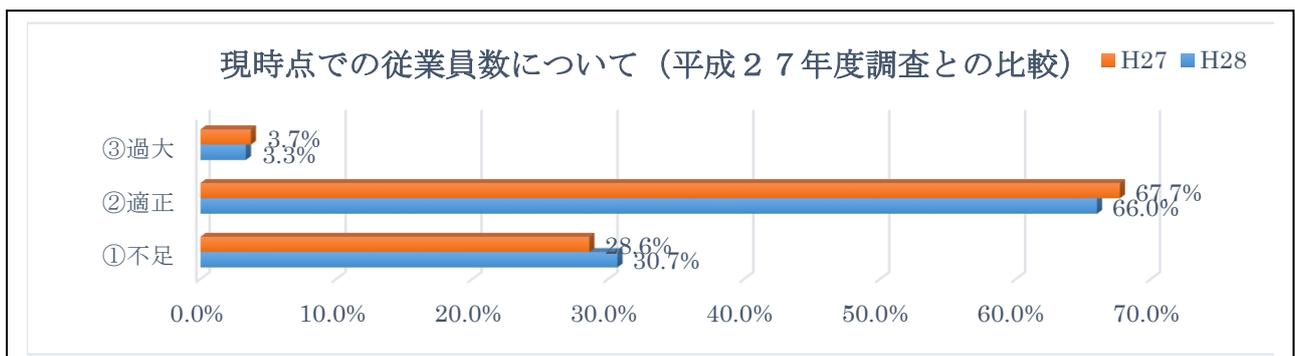
4) 現時点での従業員数について伺います。該当するものに○を付けてください。

【回答】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①不足	9	5	4	1	8	5	8	6	30.7%
②適正	20	10	6	9	22	0	20	12	66.0%
③過大	3	0	0	0	2	0	0	0	3.3%

現時点での従業員数について、「適正」と答えたのが66%と最も多く、次いで「不足」が30.7%、「過大」が3.3%となりました。

また、前回の調査と比較すると「不足」が2.1%増加し、依然として従業員の不足が続いている。

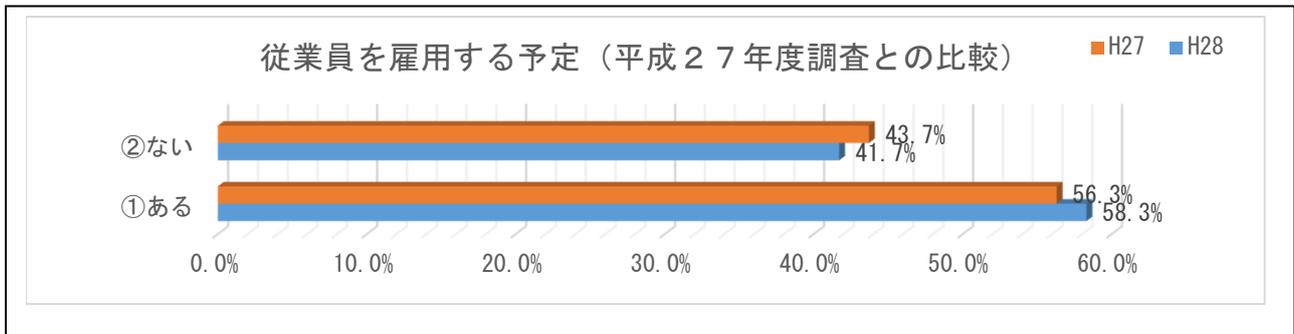


5) 4) で「不足」を選択した方に伺います。今後、従業員を雇用する予定はありますか？

【 回 答 】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①ある	7	4	4	1	7	4	6	2	58.3%
②ない	6	2	1	2	4	1	5	4	41.7%

「不足」と答えた方で、今後従業員を雇用する予定はあるかについては、58.3%があると答えました。また、前回の調査と比較すると「ある」は2%の増加、「ない」は2%の減少となっています。



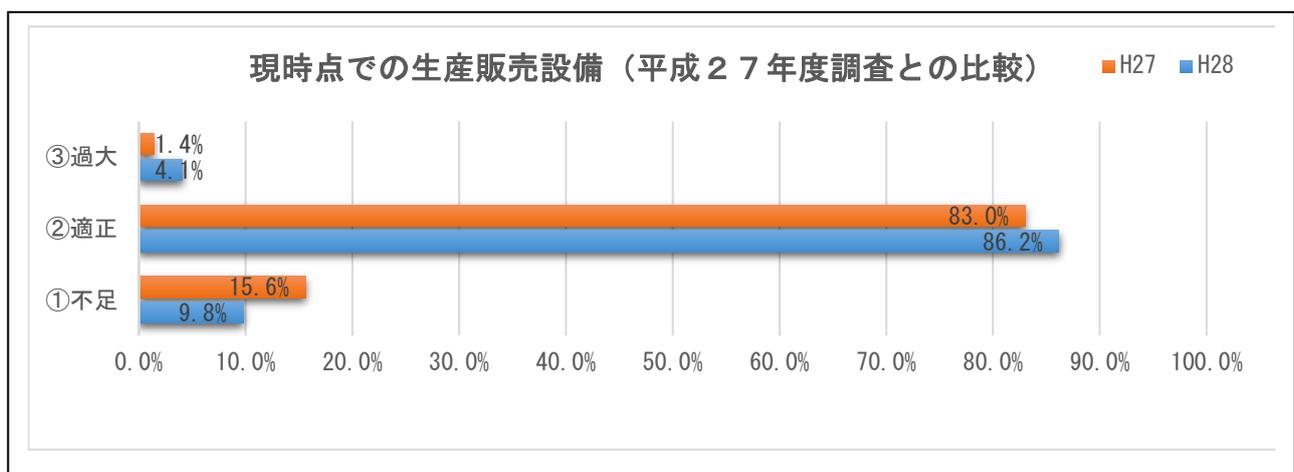
6) 現時点での生産販売設備について伺います。該当するものに○を付けてください。

【 回 答 】

項目	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①不足	2	4	1	0	2	0	3	0	9.8%
②適正	25	10	5	7	18	6	21	14	86.2%
③過大	2	2	0	0	1	0	0	0	4.1%

現時点での生産販売設備について「適正」が86.2%と最も多く、「不足」が9.8%、「過大」は4.1%となりました。

また、前回の調査と比較すると「不足」が5.8%減少し、設備投資への動きは低調となっています。



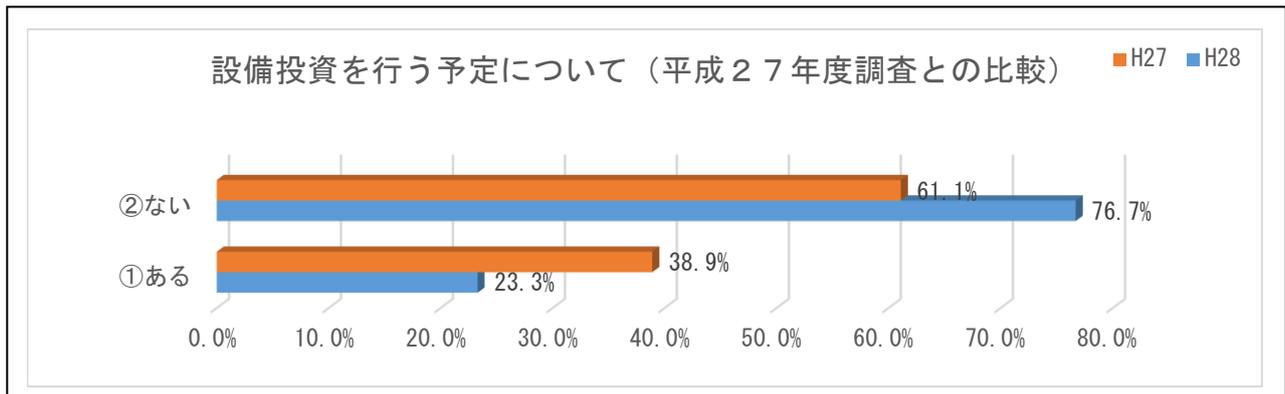
7) 6) で①を選択した方に伺います。今後、設備投資を行う予定はありますか？

【 回答 】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①ある	1	2	1	0	1	0	2	0	23.3%
②ない	5	6	0	1	4	1	6	0	76.7%

「不足」と回答した方で今後の設備投資の予定については「ない」が76.7%、「ある」が23.3%となりました。

また、前回の調査と比較すると「ある」は15.6%減少し、「ない」は15.6%増加しています。

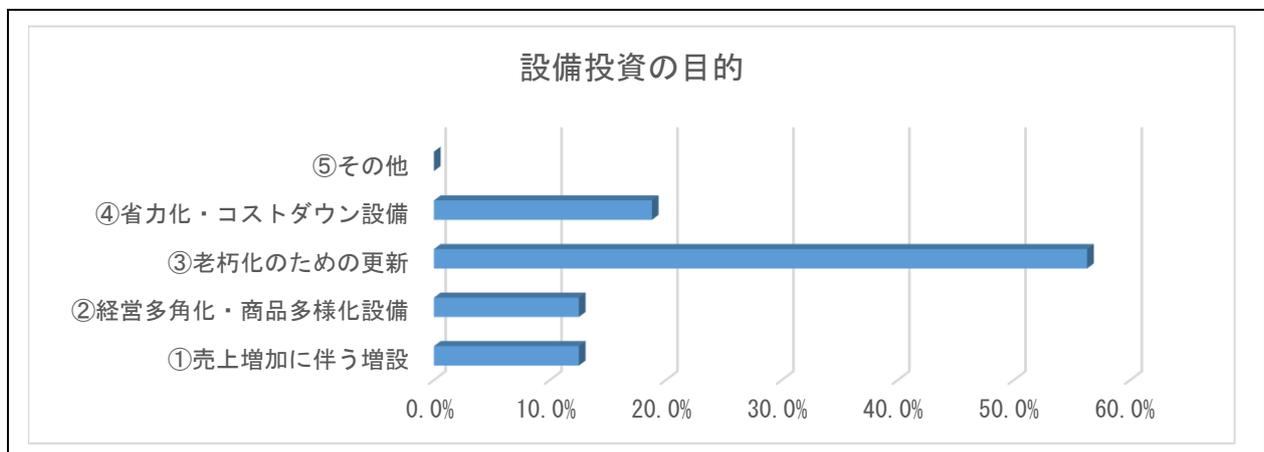


8) 7) で「ある」を選択した方に伺います。設備投資の目的は何ですか。該当するものに○を付けてください。（複数回答可）

【 回答 】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①売上増加に伴う増設	0	1	0	0	0	0	1	0	12.5%
②経営多角化・商品多様化設備	0	0	0	0	1	0	1	0	12.5%
③老朽化のための更新	3	1	1	0	1	0	1	2	56.3%
④省力化・コストダウン設備	1	1	0	0	0	0	1	0	18.8%
⑤その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

設備予定の目的については「老朽化のための更新」が56.3%、次いで「省力化・コストダウン設備」が18.8%、「売上増加に伴う増設」「経営多角化・商品多様化設備」が12.5%となりました。



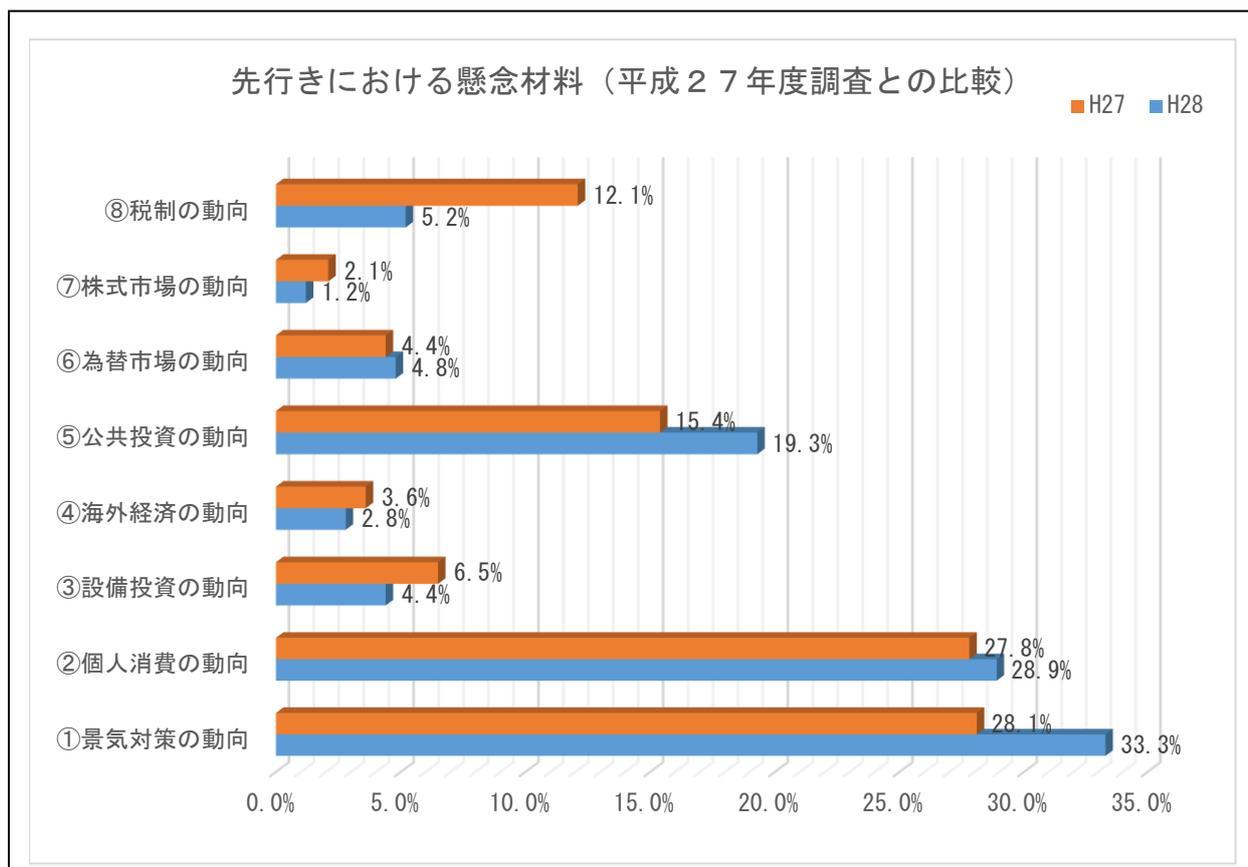
9) 先行き（2～3ヶ月先）における懸念材料はどんなことですか。該当するものに○を付けてください。（複数回答可）

【 回 答 】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①景気対策の動向	21	8	6	5	18	4	12	9	33.3%
②個人消費の動向	6	8	3	2	25	4	15	9	28.9%
③設備投資の動向	3	0	1	0	0	1	4	2	4.4%
④海外経済の動向	2	0	1	1	1	1	1	0	2.8%
⑤公共投資の動向	21	3	3	3	5	2	7	4	19.3%
⑥為替市場の動向	2	4	0	1	2	1	1	1	4.8%
⑦株式市場の動向	0	1	0	0	1	1	0	0	1.2%
⑧税制の動向	2	0	1	1	3	1	4	1	5.2%

先行き（2～3ヶ月先）における懸念材料については、「景気対策の動向」が最も多く33.3%、次いで「個人消費の動向」が28.9%、「公共投資の動向」が19.3%となりました。

また、前回の調査と比較すると、「景気対策の動向」が5.2%の増加、「公共投資の動向」が3.9%の増加に対し、「税制の動向」が6.9%の減少となり、消費税の増税延期等といった要因がうかがえます。



10) 当地域で、貴社の今後の事業展開で今一番のプラス要因とマイナス要因をお聞かせください。

【回答】

業種	プラス要因	マイナス要因
①建設	発注者が企業の収益性向上する為の施策を積極的に行っている	公共工事の発注時期の遅延・減少
	公共事業の発注増	工事規模(金額)が小さい。(1人当たり施工額が小さい)
	民間の設備投資の増加	担い手の確保が困難である
	新しい事業展開をする支援体制が出来てきた	人口減少・量販店との価格比較
	同業者の減少	経済界が一枚岩になっていない
②製造	ニーズの変化に対応する商品構成の改革	個人消費の低下
	新商品の提案と新規顧客の販売増	高齢者社会の商圈の縮小
		人口減による公共事業の縮小
		仕入価格上昇の為の利益率低下
		同業者が複数あると他地域により参入
③運輸	必要な設備投資の終了	個人消費の低迷
	燃料(LP)価格が低水準	商店の減少
④卸売	回答なし	取引先の廃業等で売上の減少
		人口減少による消費の減少
		公共投資の減少
		競争激化・消費需要の低迷
⑤小売	競合店が閉店した事	人口減少
	商店街と、何か取り組むことで活性化に繋がる可能性はある	エネルギー政策転換による需要減少
	縮小していた事業が、盛り返してきた	公共事業の減少・人口減少による経済の縮小
	世代交代がすすみ、様々なことに取り組みやすくなっている	人口減少による売上減・時代の流れ
	商品の特化で、地方に発信	廃業等により、街全体の活気が損なわれ、商店街の役割を果たせない。
		ネット通販により、売上の縮小
⑥飲食	回答なし	人口減少
		従業員不足
⑦サービス業	公共事業の発注増	大型店出店による売上の減少・休業・廃業が懸念
	客の需要の増加	人口の減少・少子高齢化に伴う経済の縮小
	留萌線廃止による一時的な利用増加	職員の高齢化
	同業他社の高齢化による廃業	
⑧その他	建物解体工事に参入した	個人消費低迷による資金ニーズ不足
	人材の定着	通販型保険・大企業系保険の進出
	新商品の販売	人口減・高齢化
	地域貢献活動の維持	

当地域において貴社の事業展開で今一番のプラス要因については、建設業において「公共事業の発注増加」「同業者の減少」等が挙げられ、他の業種では「新商品の販売による需要増加」「競合店の閉店」「必要な設備投資の終了」が挙げられ、卸売業と飲食業でのプラス要因は挙げられませんでした。

マイナス要因としては、全業種において、「人口減少による消費の減少」が挙げられた他「高齢化」「消費需要の低迷」「担い手不足」「競争の激化」「ネット通販による売上げ減少」等、マイナス要因を挙げる回答が、プラス要因と比較して圧倒的に多い結果となりました。

1 1) 現在最も苦慮している経営上の問題点は何ですか。上位三点をご記入ください。

【 回 答 】

項目/業種	①建設	②製造	③運輸	④卸売	⑤小売	⑥飲食	⑦サービス	⑧その他	割合
①競争激化	7	4	3	2	9	0	6	4	8.7%
②消費需要の停滞	6	4	2	3	20	1	7	6	12.2%
③売上減少	17	6	7	8	20	3	12	4	19.2%
④売上・受注単価減少	6	2	0	0	5	1	2	3	4.7%
⑤原材料・仕入価格上昇	8	6	1	1	1	3	11	1	8.0%
⑥原材料・在庫不足	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
⑦原材料・在庫過剰	0	0	0	0	0	0	1	0	0.2%
⑧経費の増加	5	5	1	1	5	4	10	3	8.5%
⑨店舗・生産設備不足・老朽化	1	6	3	2	9	2	8	4	8.7%
⑩店舗・生産設備過剰	0	0	0	0	0	0	0	1	0.2%
⑪人手不足	14	2	4	0	8	4	6	4	10.4%
⑫人手過剰	1	1	0	0	0	0	0	0	0.5%
⑬利益率低下	21	4	3	3	11	0	4	2	11.9%
⑭代金回収難	1	0	0	1	0	0	0	1	0.7%
⑮資金繰り難	4	1	3	2	3	0	1	0	3.5%
⑯新分野進出	2	0	0	1	2	0	2	1	2.0%
⑰その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0.5%

現在最も苦慮している経営上の問題点（上位3点）

経営上の問題点



業種別経営上の問題点

業種	問題点	回答率
建設	利益率低下	22.1%
	売上減少	17.9%
	人手不足	14.7%
製造	売上減少	14.6%
	原材料・仕入価格上昇	〃
	店舗・生産設備不足・老朽化	〃
運輸	売上減少	25.9%
	人手不足	14.8%
	利益率低下	11.1%
卸売	売上減少	33.3%
	消費需要の停滞	12.5%
	利益率低下	12.5%
小売	消費需要の停滞	21.5%
	売上減少	21.5%
	利益率低下	11.8%
飲食	経費の増加	22.2%
	人手不足	22.2%
	売上減少	16.6%
サービス	売上減少	17.1%
	原材料・仕入価格上昇	15.7%
	経費の増加	14.2%
その他	消費需要の停滞	17.6%
	売上減少	11.7%
	店舗の老朽化	11.7%

IV その他

今後の商工会議所に対する要望・ご意見等がありましたらお書きください。

【 回 答 】

- ①留萌市の企業が管外で活躍できる支援。
- ②留萌市の特産物のアピール及び新しい特産品の支援、アドバイスを積極的に行う姿勢を希望する。
- ③地方のシンクタンクとして、先行きの見通しを示して頂くことを継続して、様々なビジネスチャンスをもたらす仲介役としてもご活躍してほしい。
- ④将来を見据えた定住人口を増やす努力をしてほしい。
- ⑤留萌市内で一体感を感じるリーダーシップをとってほしい。
- ⑥増毛は最近活動が目立っている。
- ⑦若者が戻ってくるような魅力ある町にしてほしい。
- ⑧J Cの「音楽合宿のまち」活動に対する官民一体の支援体制構築の原動力となっていく事を希望する。
- ⑨留萌の為に知恵と労力で盛り立ててほしい。
- ⑩官公庁に対する地方発注増の運動を続けてほしい。
- ⑪郊外型店舗の出店を規制してほしい。
- ⑫外国人研修生の受け皿を整備してほしい。
- ⑬目先にとらわれず、10年先の留萌経済を考えてほしい。
- ⑭市にお金が入ってくるように、一時的なお祭りではなく、必要のない建物にお金をかけないとか
- ⑮もう少し収入になることを考えて今後を担う子供達の為に街づくりを行ってほしい。
- ⑯シーズン中混雑するゴールデンビーチ前通路に「タクシー乗り場」を設置してほしい。
- ⑰未だ横領事件が解決したとは思えない。一人の命を軽視しないでほしい。
- ⑱事件の返金は確実に行われているのかが、不透明である。
- ⑲市の緊縮財政の為、何もいいことがない。人口減少対策にしても益々悪化、何か策を考えてほしい。
- ⑳店舗にしても段々空洞化していきます。おのずと若者がいなくなります。増毛町は最近活動が目立って来ました。これも考慮してほしい。
- ㉑昔の港の利活用のビジョンが失敗してますが、めげずに作ってほしい。
- ㉒商社の町、起業には特典・税金面・資金と観光協会で一生懸命やってる販路・商品のアドバイス・一体で商社を育成。
- ㉓10年後の町の具体的な展望・あり方を検討。